

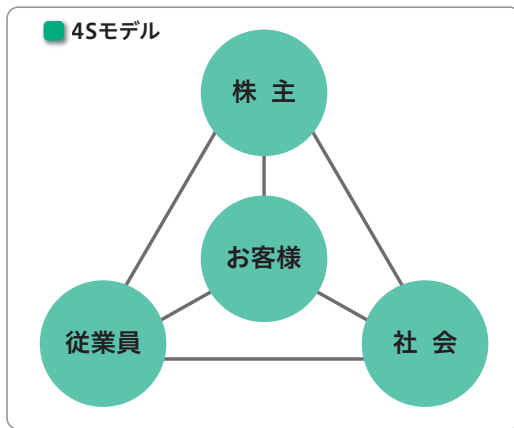
# JTグループのCSR

## ■ 経営理念と目指す企業像

### 経営理念

企業は単独で存在するものではなく、お客様をはじめとする多くのステークホルダーとの関わりの中で存続しています。そこでJTグループでは、経営理念として「お客様を中心として、株主、従業員、社会の4者に対する責任を高い次元でバランスよく果たし、4者に対する満足度を高めていく」とする4Sモデルを掲げています。4SのSは、SatisfactionのSを意味しています。

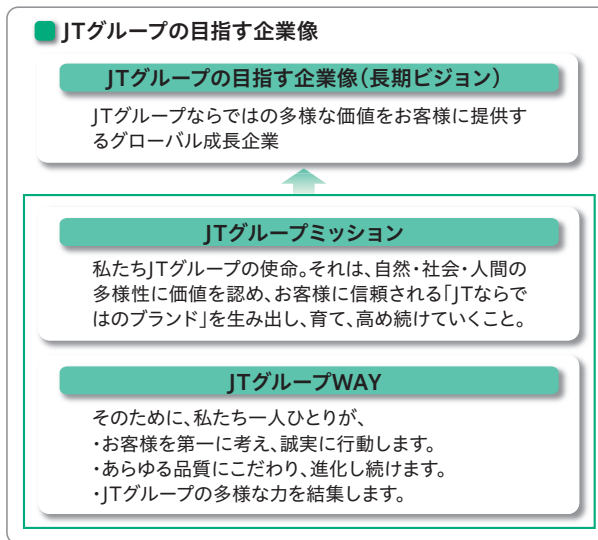
JTグループではこの経営理念の実践を通じ、その企業価値を中長期的に高めていくとともに、さらなる成長を図っていきます。



### JTグループミッション & JTグループWAY

JTグループでは、長期的に目指す企業像を「JTグループならではの多様な価値をお客様に提供するグローバル成長企業」と位置づけ、その実現に向けて、「JTグループミッション」と行動指針としての「JTグループWAY」を策定しています。

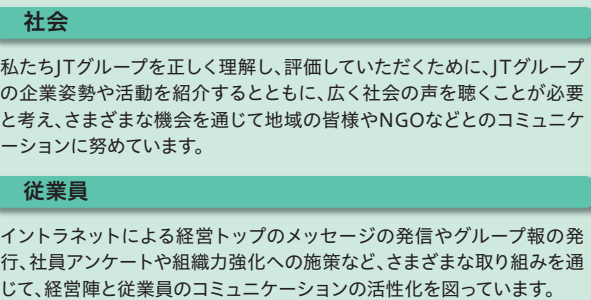
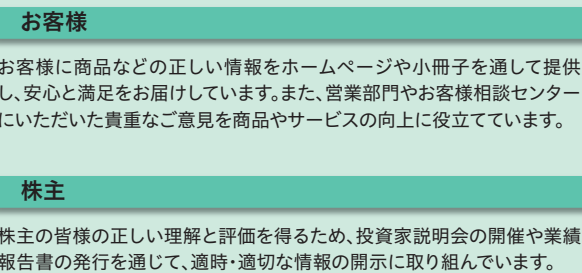
変化する事業環境への対応力を強化し、JTグループのさらなる成長を図っていくためには、経営理念を中心に据えつつ、JTグループのすべての社員がこのミッションと行動指針を共有して変化に挑み続けていくことが重要だと考えています。



## ■ ステークホルダーとのコミュニケーション

JTグループでは、事業活動のさまざまな場面においてステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを図るとともに、そこで行わ

れた議論や提案いただいたご意見を、私たちの事業活動やCSRの取り組みに生かしていきます。



## ■ JTグループのCSRに対する考え方

私たちJTグループは、自らが持続的に成長していくためには、社会の持続可能な発展が必要不可欠であると考えています。そして、社会の持続可能な発展に向け、事業を通じて社会的課題の解決に貢献し、社会的責任を果たしていくことこそが私たちに求められていることです。この責任を果たしていくことが、JTグループミッションの実現につながるものと考えています。

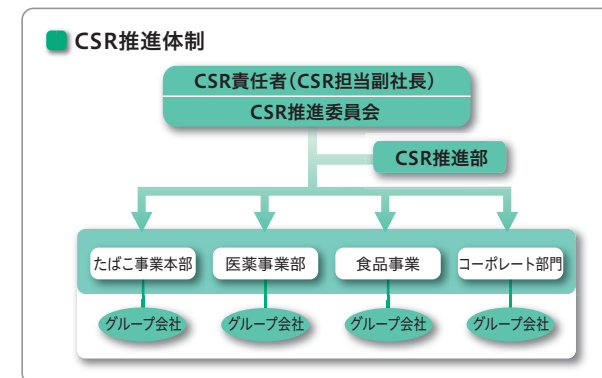
JTグループでは、これまで事業を通じた取り組みを中心とするCSR推進に着実に取り組んできたところですが、今後はよりグローバルに、よりの確に社会的課題の解決に貢献するために、ISO26000(社会的責任に関する国際規格)に基づいたCSR推進に取り組んでいきます。取り組みを推進するにあたっては、製品と消費者への適切な取り組み、サプライチェーンマネジメント、環境マネジメント、経営基盤の強化、社会貢献活動という課題を中心にCSR推進を図っていきます。

また、私たちJTグループのCSR推進には、ステークホルダーの皆様のご意見が欠かせません。今後ともステークホルダーの方々とのコミュニケーションに引き続き取り組んでいきます。

## ■ 全社的なCSR推進体制

JTグループでは、内外の状況を踏まえ、全社的な観点に基づいてCSRの推進を図るため、担当副社長を委員長とするCSR推進委員会を定期的に開催し、全社的な方向性を検討および共有しています。

また、各部門との連携のもと、CSR推進部が全社的なCSRの推進に取り組んでいます。



## ■ CSR推進計画とその取り組み実績

JTグループでは全社的なCSR推進のため、「経営の基盤領域」「事業環境分野」「地球環境分野」「社会貢献分野」の4つの領域・分野において重点活動項目を定めた3か年のCSR推進計画を策定し、取り組みを進めてきました。CSR推進計画(2009-2011)の期間中も、社会からの期待に応えるCSRへの取り組みを目指して活動を深化させてきました。

「経営の基盤領域」に関しては、コーポレート・ガバナンスやリスクマネジメント、コンプライアンスなどの取り組みはもちろん、CSR志向の調達や人材マネジメントの強化に取り組んでいます。CSR志向の調達については、「JTグループ調達基本方針」を策定し、グループ内における着実な浸透を進めています。また、グループのコンプライアンス体制のさらなる強化を目指して新しい「JTグループ行動規範」を策定しました。

「事業環境分野」では、たばこ・医薬・食品の3事業でおのの事業特性を考慮し、「未成年者喫煙防止活動の推進」「たばこを吸われる方と吸われない方の協調ある共存(たばこ事業)」、「製薬事業に携わる者としての高い規律の実現(医薬事業)」、「最高水準の食の安全管理の推進(食品事業)」を重点活動項目として掲げました。いずれも長期的な取り組みとして着実に成果を挙げています。

「地球環境分野」では、「JTグループ環境行動計画(2009-2012)」に基づき、環境負荷低減(地球温暖化防止・資源有効利用)や連結子会社全社への環境マネジメントの拡大を中心に取り組みを進めています。環境負荷低減の主要管理指標(温室効果ガス排出量、水使用量、廃棄物発生量、再資源化率)に関して、いずれも着実に成果を挙げ、また、環境マネジメントの対象会社の拡大についても順調に進捗しています。

「社会貢献分野」においては、「JTグループの社会貢献活動の基本方針」に基づき、「良き企業市民」として地域社会と共生することを目指しています。国内では事業所周辺の清掃活動や全国9か所での森林保全活動「JTの森」、各地のNPO(非営利法人)の活動への助成など、地域に密着した取り組みを展開してきました。また海外たばこ事業の中核を担うJTインターナショナルでは、社会的に恵まれない人々の生活の質の改善や芸術を支援する活動に重点的に取り組んでいます。